

2019年度「BBCワールドニュース」番組審議委員会 議事録

【日時】 2019年12月4日(水) 10:00-11:15

【場所】 東海大学交友会館「諏訪の間」

【審議委員】(敬称略・五十音順)

1. ^{Marsha Krakower} マーシャ・クラッカー (聖心女子大学 英語英文学科教授)
2. ^{こいけ まさゆき} 小池 政行 (青山学院大学法科大学院客員教授・東京医療保健大学客員教授)
3. ^{たかしま はつひさ} 高島 肇久 (株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長) *委員長
4. ^{ふじさき いちろう} 藤崎 一郎 (一般社団法人日米協会 会長)
5. ^{ふじむら あつお} 藤村 厚夫 (スマートニュース株式会社 フェロー)
6. ^{Phillip Brown} フィリップ・ブラウン (学習院大学外国語教育研究センター教授) ※当日ご欠席、メールにてご意見頂戴しています。
7. ^{まきの ことこ} 牧野 琴子 (字幕翻訳家) ※当日ご欠席、メールにてご意見頂戴しています。
8. ^{もりよし なおこ} 森吉 直子 (慶應義塾大学 商学部教授)

【衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン】

1. 福田 泉 (代表取締役社長)
2. 谷 俊之 (編成局長)

【番組供給事業者：BBC グローバルニュースジャパン株式会社】

1. 相川 浩太郎 (代表取締役マネージングダイレクター)
2. 輪座 克彦 (取締役)
3. 平林 みか (営業)
4. 都田 智子 (オペレーション)
5. 二瓶 淳子 (オペレーション)
6. 田口 日出美 (アドミニストレーション)
7. 荒川 有希 (マーケティング)
8. マクネリス 絵里奈 (マーケティング)

1. 相川代表取締役より、ご挨拶と最新の取り組みについて

「50:50プロジェクト」について

BBC では、2017 年から、テレビ番組などに出る女性出演者の割合を引き上げて、男女比率を平等にしようとする「50:50 プロジェクト」に取り組んでいます。元々は、BBC のニュース番組の出演者が全員男性であったことに疑問を感じた男性司会者が、出演者の男女比を半々にすることを個人的な目標として掲げ、3 ヶ月後に目標を達成し、その動きが最終的に全社をあげての取り組みへと発展、トニー・ホール会長も 18 年 4 月に、「テレビとラジオの番組で広く取り組む」と宣言し、現在は 500 以上の番組制作の現場で実現しています。BBC による調査では、女性視聴者の 5 人に 1 人が「女性の登場率が増えたことで番組を、より楽しめるようになった」と回答し、世代別では、16～34 歳の視聴者の 5 人に 1 人が、番組をより楽しめるようになったと回答しました。一方で、55 歳以上の視聴者では、6 人に 1 人が「視聴回数が減った」とも回答しています。BBC の「50:50 プロジェ

クト」は、各国のメディアにも広がりつつあり 20 以上のメディアから同調の申し出があり、連携を始めています。

「2020 東京オリンピック・パラリンピック」について

BBC では来年のオリンピックの放映のため、撮影クルー、取材記者、プロデューサー、など総勢約 485 名のスタッフが、来年の夏、来日する予定です。その際、番組制作に関して、BBC Sport チームは、以下の 3 つのビジョンを掲げています。

一つ目は、単にアスリートや競技結果、開催国である日本についてレポートするだけでなく、裏で支える人々も含めたヒューマンストーリーの数を増やす事。

二つ目は、若いオーディエンスにアピールするような、クリエイティブで楽しくエキサイティングなコンテンツ作りに注力するという事。

三つ目は、オリンピックやパラリンピックの取材活動を通じて、ホスト国である日本や日本人像についてその知られざる魅力について独自の目線で伝える事。

「2020 東京オリンピック・パラリンピック」の放送も是非ご期待下さい。

2. 審議内容

下記審議対象番組についてのご意見、ご感想

◆ニュース

【ニュースブリーフィング】 The Briefing

2019 年 10 月 22 日放送回 ニヶ国語放送

◆トラベル

【トラベル・ショー「東京 2020 パラリンピック競技大会」】 The Travel Show – Tokyo Paralympics

2019 年 4 月 6 日放送 日本語字幕付き

3. 議事概要

<【ニュースブリーフィング】について>

[番組内容]

ロンドンスタジオから全世界の視聴者に向けて世界の最新ニュースを放送するライブニュース番組。この回は、天皇陛下「即位礼正殿の儀」と、スキャンダル続出でトルドー首相の進退が掛かっていたカナダ総選挙の結果速報を放送。

[選定理由]

天皇陛下の「即位礼 正殿の儀」が行われたこの日、日本人初の BBC World News リポーターである大井真理子が、皇居前から生中継でレポート。しかし BBC World News では、トルドー首相の進退が掛かっていたカナダ総選挙の結果速報をトップニュースで伝えました。日本のメディアは、勿論「即位礼 正殿の儀」の報道一色でしたが、世界の関心はカナダの総選挙により多く集まっており、こうした欧米のメディアと日本メディアのトップニュースの扱いの違いについてもご覧頂きたいと思い、この番組を選びました。

<ご意見>

- ・「即位の礼」のレポートは、背景、構図（皇居をバック）が素晴らしかった。
- ・大井レポーターが、「十二単」について何度も伝えたにも係わらず、その映像が殆ど映らなかったのは残念。

- ・カナダの総選挙の結果速報について、グラフなどを用いて視覚的に見せて、誰にでも分かる放送にすると良い。
- ・「即位の礼」とその他のニュースが行ったり来たりで、見づらかった。まとめて放送した方が良い。
- ・「即位の礼」に際して高御座や、来賓の内訳や、即位の礼に続く一連の儀式について等、もっと詳しく伝えて欲しかった。
- ・イギリス王室と日本の皇室の違い、日本の千年以上も続く儀式であること、などの説明不足。
- ・この儀式について、歴史を踏まえた専門知識を持った人がコメントしていたら尚良かった。
- ・日本では「即位の礼」一辺倒だったのに対して、トップにカナダの総選挙を放送し、改めて日本が世界のニュースに対して希薄であることを気付かされ感心した。
- ・The Briefing という番組の特性上、他の世界のニュースの中でこの厳かな儀式を伝えきるのは難しいので、この作り方で仕方が無い。せっかくならドキュメンタリーで見たいと思った。
- ・BBC 回答：5月の「即位の日」には大きく終日報道しましたが、今回の「即位の礼」はパレードが延期になり式典のみで、国民の参加も少ない為、BBC ワールドニュースの中で扱う比重も少なくする判断になりました。
- ・「即位の礼」は、静の部分が長く海外の視聴者は飽きてしまうので、敢えて映像を他のニュースと切り替えたと理解した。

<【トラベル・ショー「東京 2020 パラリンピック競技大会」】について>

[番組内容]

BBC のウィークリートラベル番組。

「番組と共に新たな発見の旅へ」というコンセプトに基づき、世界のさまざまな地を訪ね、観光客が集まる人気スポットの隠れた一面を紹介する、BBC の人気番組です。

[選定理由]

この放送回では、2020 年パラリンピック開催まで 500 日と迫る東京から、多くの障害者を含む外国人観光客を迎えるにあたり、東京ではどのような準備がされているのか、自身も障害を持つ BBC のポール・カーターが取材しました。この回は、2019 年 10 月に発表されたトラベルに関するあらゆるコンテンツを評価する英 Travel Media Award で、Broadcast Programme of the Year を受賞しました。

<ご意見>

- ・ポール・カーター記者に好感を持ち、感情移入がしやすかった。
- ・イギリスのバリアフリーとの比較、日本がいかにも遅れているかを映像で示して欲しかった。UK と日本の地下鉄の比較など。
- ・車椅子の方と浅草寺以外にも色々な場所へ行動を共にして、その様子を放送して欲しかった。
- ・海外からの観光客、子供の目線の高さ、障害者の不自由など色々な側面から問題点を考えさせられた。また視覚に訴える映像で見る事により、その問題点を一層強く感じる事が出来た。
- ・こういう番組を教育現場で子供たちに見せる事により、幼い頃から障害者などに対して自然と思いやりを持つ思考になるのでは。
- ・誰に見せようとしている番組なのか分かりにくかった。非日本人向けであれば、情報が少なく、文化論的に日本を語るのであれば、批評的な内容が少なく、エンタメとしても不足感がある。

・Travel Show なので、単なる旅番組として見れば良いと思う。タイトルに「パラリンピック」をつける必要はなかったのでは？東京を案内している番組としてとても良いエンタテインメント。

・かなり重度な障害を持った人なのに、明るい性格と周りのリアクションが自然体で驚いた。現在の日本では同じ番組を作ることは難しいでしょう。画期的な番組。

・日本人コーディネイターを採用していたようだが、ロケーションや人選の面でも良いコーディネイトだった。

・ポール記者が日本人の障害者と話す際に、英語の話せる相手を選んだのも、視聴者は自然に聞けるので良かった。

・トラベル番組としても、身障者の目線で東京を見せてくれた面でも良い番組だった。

・字幕番組だったのが良かった。スピーカーの性格、感情が生で伝わった。

・ポール記者が明るい性格で素直に番組が楽しめた。「トラベル・ショー」には彼以外にどのようなレポーターがいるのか？

BBC 回答：地域によりレポーターが複数名います。ポール・カーターの他にももう一名車椅子のレポーターもあり、BBC のポリシーで社会をそのまま反映させるということで、様々な人種・属性のレポーターを採用しています。

・日本人の車椅子の女性が「日本人は障害者の扱い方が分からないし、シャイで言い出せない」と言っていたが、その辺りをもう少し掘り下げると、より日本の現実、日本人の特徴が伝わったのではないか。

<その他のご意見>

●「50:50 プロジェクト」

・色々な調査があり、その中で若くて綺麗な女性キャスターの方がそうでない女性キャスターに比べると視聴率が上がるという調査がある。しかし、BBC は年齢に拘らず採用しているのが良い。視聴率を気にせずパイオニアになって欲しい。

・日本の放送局では、テレビ画面に出る女性の割合は増えているが、管理職・組織を支えるポジションに就く女性の割合は別の扱いになっているのが現実。BBC の幹部の中での女性の割合は？

BBC 回答：BBC では、毎年出している Annual Report でその割合を公開しており、幹部(Executive Committee)における女性の割合は 38%となっています。また全社員における女性の割合は 47.9%、リーダーシップ役職における女性の割合は 43.8%です。BBC では 2020 年までに両割合とも 50%を目指しています。詳しくは下記のリンクの Annual Report 中の 81 頁をご覧ください。

<http://downloads.bbc.co.uk/aboutthebbc/reports/annualreport/2018-19.pdf#page=80>

●オリンピック関連

・ヒューマンストーリーを多く取り上げてくれるというのは、とても良い事で期待している。

・アスリートなどが政治的発言をした場合、日本の放送局は取り上げない傾向にあるが、BBC はきっちり伝えて欲しい。

●BBC 関連

・BBC はネットワークが強く、日本の民放では殆ど報じない内容も放送するので、海外ニュースにおいて BBC の役割は非常に大きい。

・学生は、ニュースをフェイスブックや、学食で見ているので、BBC もその方面でも営業努力を行って欲しい。

・日本のメディアと違う視点で今後も報道をして欲しい。またそのためのプロモーションを日本国内でもっと行って欲しい。

- ・BBC はアート系のドキュメンタリーが強いのもっと放送して欲しい。
- ・「BBC ワールドニュース」だけではなく、「ニュースナイト」など時事問題を深く掘り下げる番組をもっと放送して欲しい。
- ・サッカーのプレミアリーグのコンテンツがあれば、視聴者が増えると思う。
- ・ドキュメンタリーは、全部字幕にするほうがいいと思う。
- ・ニュースは Brexit 関係の国会など、ライブで放送してくれるので、とても興味深い。
- ・せっかくの BBC なので、アフリカやアジアのニュースより、UK 発のニュースが見たい。



以上